

## 「総合技術研究所 中期事業計画（第2期）」の実施状況について

### 1 要旨・目的

令和3年度から令和7年度の5年計画である「総合技術研究所中期事業計画（第2期）」（以下「第2期計画」という。）の令和5年度の実施状況をとりとまとめたので報告する。

### 2 現状・背景

第2期計画では、基本方針を①ニーズ起点、②総合力の発揮、③シンクタンクの機能の発揮、④専門技術+デジタル技術活用と定め、高度化・複雑化・多様化する事業者等の技術的課題に対して、従来からの専門技術の進化に加え、デジタル技術を活用し、的確で効果的なソリューション提供を行うことを目指す。

### 3 概要

#### (1) 対象者

県内中小企業、農林水産事業者、県事業局等

#### (2) 実施内容

取組方針	主な実施内容
顧客とのコミュニケーション強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的を持った営業活動の実施</li> <li>ニーズ分析検討会やアンケート調査結果の分析によるニーズの深掘り</li> </ul>
顧客起点での課題解決に向けた、迅速かつ満足度の高い支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究、受託研究、技術的課題解決支援事業による「ソリューション提案型」支援の推進</li> </ul>
課題解決を支える技術基盤等の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術活用のための技術支援体制の強化</li> <li>顧客ニーズの高い設備機器の計画的整備</li> </ul>

#### 【目標達成状況】下線部は第2期計画から追加した項目

指 標		R3~R7 目標（年平均）	R5 実績	状況	（参考） R3~R5 平均		
アウトプット	ニーズ把握	① 事業者等訪問数	1,200 件	1,324 件	達成	1,292 件	
		② 技術相談件数	11,500 件	11,362 件	未達	11,947 件	
		③ 利用者満足度	4 以上	4.4 /5段階中	達成	4.4 /5段階中	
	課題解決	④ ソリューション提供*	件数	280 件	358 件	達成	386 件
			金額	117,000 千円	246,171 千円	達成	167,544 千円
		⑤ 農林水産事業者技術指導件数	700 件	845 件	達成	787 件	
		⑥ 事業者等・事業局人材育成者数	4,700 人	5,366 人	達成	5,826 人	
		⑦ 設備利用	件数	11,500 件	12,521 件	達成	12,102 件
			(うち職員操作支援件数)	—	2,551 件	—	3,484 件
			金額	28,000 千円	31,007 千円	達成	32,877 千円
		⑧ 事業局課題対応件数	200 件	308 件	達成	315 件	
アウトカム	—	⑨ 知財等実施件数	30 件	45 件	達成	37 件	
		⑩ 製品化件数	15 件	29 件	達成	25 件	
		⑪ 支援効果額	9,100 千円	7,568 千円/者	未達	6,966 千円/者	

※ ソリューション提供件数：共同研究・受託研究・技術的課題解決支援事業の実施件数

(3) スケジュール

令和3年度～令和7年度（5年間）

(4) 予算（単県）

396,286千円

(5) 事業効果・検証結果

- 第2期計画に基づく技術支援等を着実に実施した結果、11指標13項目のうち技術相談件数、支援効果額を除く11項目について、目標（5年平均値）を達成しており、概ね順調に進んでいる。
- 各センターを利用した事業者等に実施したアンケート調査結果では、研究員の対応の良さ、事業者等の知見の獲得・蓄積への貢献、短納期での試験への対応など、丁寧で迅速なサービスが評価され、高い満足度を得ている（令和6年度調査結果の概要は別紙のとおり）。
- 技術相談件数は目標を下回ったものの、令和3年度～令和5年度の3年間の平均値は11,947件と、目標（5年平均値）を上回って推移している。
- アンケート調査で把握した支援効果額は、利益・売上増やコスト削減効果として1者当たり756万円となった。

【参考】他都道府県の支援効果額

東京都：575万円/1者（令和5年分）、山口：336万円/1者（令和4年分）

(6) 今後の対応

引き続き第2期計画に基づき、事業者等の既存製品の改良、新製品開発、生産性向上を支援することで、事業者等の付加価値向上を図るとともに、利便性向上など利用者の要望に沿った改善や、デジタル技術活用のための技術支援体制の強化を行いながら、事業者等や事業局の課題解決に取り組んでいく。

4 その他（関連情報等）

- 総合技術研究所中期事業計画（第2期）  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/jigyoukeikaku.html>
- 利用者アンケート調査結果（令和5年度調査結果）  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/survey-r05.html>

※ 令和6年度調査結果は、9月中に総合技術研究所ホームページで公開予定。

## 令和6年度総合技術研究所利用者アンケート調査結果の概要 (令和5年度利用分)

### 1 要 旨

総合技術研究所の各種サービス（共同研究、受託研究、技術的課題解決支援事業、設備利用、依頼試験）を令和5年度に利用した事業者等に対するアンケート調査結果の概要は次のとおり。

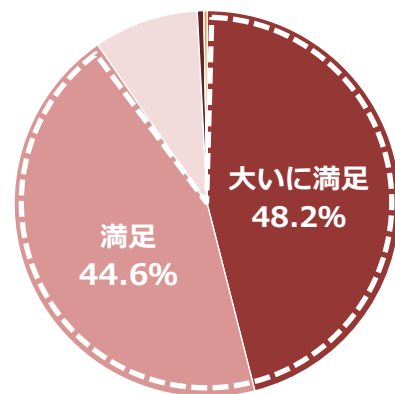
### 2 アンケート調査の概要

#### (1) 回答数

361 者（回答率 51.4%）

#### (2) 満足度

満足度	回答者数	割合
5：大いに満足	174	48.2%
4：満足	161	44.6%
3：普通	25	6.9%
2：不満	1	0.3%
1：大いに不満	0	0%
未回答	0	0%
計	361	100%



**満足度の5段階評価の平均値**  
**4.4**

**大いに満足** ⇒ **92.8%**  
**満足**

#### (3) 主な満足（不満）の理由（複数回答可）

満足な点	件数	不満な点	件数
職員の対応が丁寧	149	設備の老朽化	1
目的の知見が得られた	123		
料金が安い	80		
迅速な対応	56		

#### (4) 1者当たりの支援効果額

7,568 千円（利益・売上の増加、コストの削減、損失回避、将来メリット等）

#### (5) 強化を希望する項目

（研究員）幅広い知見（技術の広さ）、技術力（技術の深さ） など

（技術分野）画像による認識・分析・検査技術、製造業におけるデジタル技術 など

### 3 まとめ

職員の幅広い知見に基づく改善提案や、迅速な対応により「職員の対応が丁寧である」、「目的の知見が得られた」という満足した意見を利用者から多くいただいた。一方で、機器の更新や新たな設備の導入、新規技術分野の強化などへの要望が寄せられていることから、これらの技術支援基盤を強化することで、更なる利用満足度の向上を図っていく。